

ふれ愛にほうち



第21号

太田西ノ内病院広報誌・第21号

発行/財太田綜合病院附属太田西ノ内病院

編集/太田西ノ内病院広報委員会

発行日/平成19年11月

住所/郡山市西ノ内2丁目5番20号 TEL (024)925-1188

ホームページ: <http://www.ohita-hp.or.jp/>



診療科紹介

呼吸器外科

呼吸器外科は、呼吸器領域の病気のうち外科治療が必要な患者さんに手術をする科です。主な対象疾患には、肺癌、悪性中皮腫、縦隔腫瘍などの腫瘍性疾患、自然気胸、続発性気胸、巨大肺嚢胞などの気腫性疾患、さらに膿胸や気管支拡張症、アスペルギローマなどの炎症性疾患などがあります。

肺癌は、男性の癌死因の第1位、女性で3位であり、日本で年間6万人の方が命を落としている病気です。症状がなかなかでない病気のため、病院受診時には手遅れと云う方が多いのが特徴です。また、団塊の世代が60代を迎え肺癌年齢になることから、今後急増することが危惧されています。当院では、早期癌の方には胸腔鏡併用で低侵襲な手術を、進行癌の方には抗癌

剤や放射線治療を併用しての拡大手術を行っており、「諦めない治療」をモットーに積極的な外科治療を施行しています。万が一再発されてしまった患者さんにも外来での化学療法により自宅での生活をできるだけ送れるように心がけ、更に、症状が進行し通院困難な方には、訪問看護／往診などを利用し在宅診療も行っています。

悪性中皮腫は、アスベストと関連があるとされ、近年増加中の疾患です。西日本に比べ東北地方では少ない疾患ですが、東北地方の中では、ここ郡山は化学工場が多かったせいか比較的多い印象を受けます。進行が早く手遅れになりやすい病気ですが、手術、放射線、化学療法を駆使して治療に当たっています。

自然気胸は、若年で背が高く



瘦せている人に起こる病気です。肺の成長に比べ、胸郭の縦方向の成長が著しいと起こりやすい病気です。肺を包む胸膜の一部が弱くなり空気漏れが生じてしまいます。気漏が止まらない場

合、再発を繰り返す場合は手術の適応となります。手術後は3日程で退院可能となります。

現在、診療は常勤医師4名で行っています。外来診療は火曜日と金曜日。手術日は月曜日と水曜日。気管支鏡検査は金曜日の午後に行っています。

当院は、胸部外科、呼吸器外科、呼吸器外科専門医機構の認定施設であり、指導医、専門医が常勤しています。安全で質の高い医療の提供を目指しています。福島県は呼吸器外科の専門施設が多くありませんが、勉強会などを通じて他施設とも連携を深めています。セカンドオピニオンのご希望などは、気軽に相談ください。

西ノ内見聞録

4D病棟



4D病棟スタッフ

4D病棟です。糖尿病患者様の教育入院を主としています。糖尿病疑いの方の精密検査や糖尿病と診断され血糖コントロール、療養生活指導を受ける方が入院しております。また、合併症として、末梢神経障害、腎症、末梢血管障害などが起こりやすいため合併症の検査も実施されます。糖尿病ではなくても健康的にダイエットしたいという目的で入院される方もいらっしゃいます。

ここでは、西ノ内病院の各病棟・外来・その他さまざまな部署に潜入し、その内容にせまってみたいと思います。

フットケア外来

糖尿病の治療としては、薬物療法、食事療法、運動療法が行われます。糖尿病は療養生活管理を通して血糖コントロールや合併症の予防をすることができ、4D病棟ではそれぞれの患者様に応じた療養生活をサポートするために、集団指導、個別指導を行っております。指導をよりきめ細やかに行うために専門のスタッフがチームを組んで指導に当たっております。医師、栄養士、運動トレーナー、薬剤師、臨床検査技師、看護師、臨床心理士、など専門のスタッフが患者様の今までの生活習慣を考慮してどのように調整したらよいか相談に応じていますので心配なことなど遠慮なく相談していただきたいと思ひます。

退院してからの療養生活のあり方が大切になりますので、定期的な外来受診を行って健康状態のチェックを行うことが療養生活のチェックにもつながります。長期にわたるコントロールを行うに当たり、不安や心配が出てくるときもあると思ひます。今年から看護師による療養生活指導外来をフットケア外来として開始いたしました。足病変だけでなく療養生活に関する相談にも応じておりますので、お気軽にお越しただければ看護師がお話を伺いますので、ぜひご利用ください。

(熊田 美江子)

足は、全身を診ることのできる窓です。心臓から最も速くに存在しているため血管の症状が現れにくく、実際に触って足が冷たいと感じたらず、脈を触れてみること動脈硬化病変の有無を察知することができます。糖尿病では特異的に神経障害が発生します。また神経障害があると痛みも少ないため、糖尿病性足病変が効率に発生します。足潰瘍、切断の既往がある症例の再発率は、1年以内で44%、3年以内では61%、5年以内では70%と報告されています。フットケアの重要性が高い疾患であり、適切なケアによって切断の約85%は防ぎ得るといわれています。

フットケア外来は平成19年6月から開始いたしました。糖尿病の方でインスリンを使用されている患者様で足病変のリスクのある方に対し、糖尿病科医師より「在宅療養指導、フットケア」の指示が出されます。その指示を受け、月曜日から金曜日に4階D病棟の看護師が内科11番診察室において、待機し、フットケア外来の業務にあたっております。まず、患者様の問診を取り、足の感覚の検査(タツチテスト)、ドップラー検査、足の観察(白癬の有無、胼胝、鶏眼の有無など)を行います。その後、足浴、マッサージ、

爪きり、ケア方法の指導を行います。また、視力障害があり十分なケアができない方などは、家族指導も行います。必要のある患者様には次回来院時もフットケアを実施し、継続的な介入を実施します。

フットケア外来の中で、食事療法や運動療法、薬物療法など患者様が糖尿病と生きていく中で問題となる部分も多くあり、話しあうこともあります。患者様からは、30分という短い時間ではありますが、自分の療養上の思いを看護師に聞いてもらえること、指導の中で取り入れられている足浴、マッサージによるリラクゼーション効果もあり、好評を得ています。

11月現在で約250名の患者様のフットケアを実施しました。これからますます増加する糖尿病ですが少しでも「足壊疽」で切断になる患者様が少なくなるように、フットケア技術を高めつつ、支援していきたいと思ひます。

(赤穂小百合)



リハビリあれこれ

理学療法科の紹介①

太田西ノ内病院にはリハビリテーションセンターがあります。当センターには理学療法科、作業療法科、言語療法科、運動指導室があり、日々それぞれの立場から患者様の回復のお手伝いをしています。

今回は理学療法科の紹介をしたいと思います。現在、理学療法士数は二十四名です。外来、入院、在宅の患者様にそれぞれの目標に沿ったよりよい理学療法が提供できるように日々切磋琢磨しています。

さて、理学療法士はどのような事を行っていると思いますか？

一般的に『理学療法とは検査、測定、評価に基づき、何らかの疾病、障害（スポーツを含む）などに起因する機能・形態障害に対して、運動療法による筋力、関節可動域、協調性といった身体機能、および温熱、水、光線、電気などの物理療法による疼痛、循環などの改善を図る治療科学』と表現されます。患者様方に障害が残ったとき、起き上がる、坐る、立つ、歩くなどの基本的動作や日常生活活動を改善するための指導、そして社会生活を送る上で不利な要素を少なくするための福祉用具の選定や住宅改修・環境調整、在宅ケアへのアドバイスなどが含まれます。近年では、生活習慣病の予防・コ

ントロール、障害予防も理学療法の対象になっています。

当理学療法科では現在、外科的手術後、内科的疾患、中枢神経疾患、小児疾患、呼吸器疾患、循環器疾患など様々な患者様に対して入院されたその日・手術を受けた次の日より理学療法を提供してより早い回復や合併症を予防できるように働きかけています。また当院では救命救急センターがあり、受傷後早期より理学療法士が介入しています。早期に介入することで一次障害（骨折や脳卒中など）の治療のために安静が強いられ、そのために起こる二次的合併症（筋力、体力低下、肺炎など）を可能な限り予防し、より早く在宅や社会復帰が行えるように目指しています。

理学療法科では機能・能力の治療・改善だけでなく、患者・家族の皆様が明るく、元気に笑顔で日常生活が送れるように考え、ご協力していきたいと考えています。



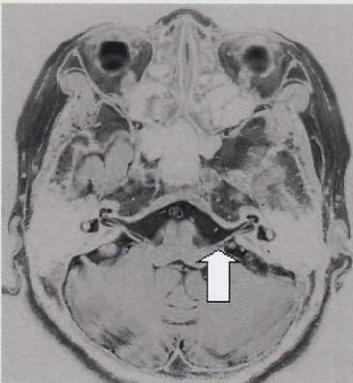
放射線あつかい⑨ 最近のMR検査情報

昨年10月から稼動しました、MR装置の最新画像です。MRは、X線被曝もなく造影剤を使用しなくてもこのような撮像ができます。

ただMRは強い磁石を使用しますので、金属が体内にある方は原則禁忌になります。また妊娠初期の方も、MRにたいする安全が確認されていませんので原則禁忌です。

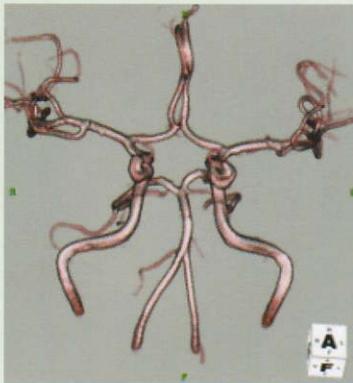
その他、検査に対する疑問や不安があれば、遠慮なくご質問ください。

CISS法による内耳神経系



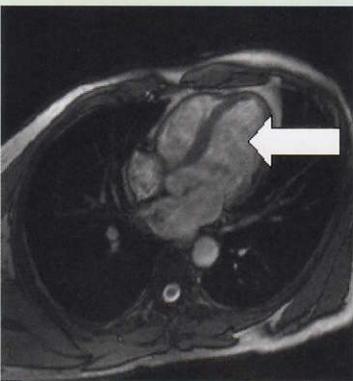
⇒が聴神経

頭部3DMRA



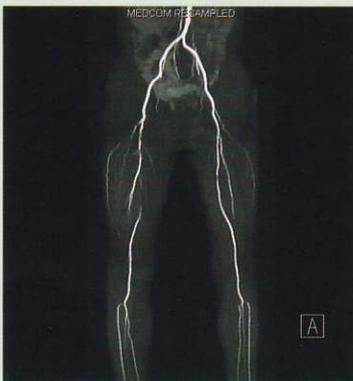
頭部正面から見た主要血管

心臓検査



⇒が左室

心電図同期による下肢MRA



職場復帰応援『看護セミナー』に参加しませんか

このセミナーは、保健師、助産師、看護師、准看護師の資格を有しながら、現在、その資格を生かしていない方を対象に職場体験等とおして、職場復帰を応援するため開催するものです。あなたのお知り合いの中にも該当者がいたらぜひお申込み下さい。

- 日程 随時開催
平成19年9月13/14日 第1回
平成19年11月20/21日 第2回まで実施済
各9:00-15:00

※今後の詳しい日程等はホームページに掲載致しますので、そちらをご覧ください。

- 会場 太田西ノ内病院 地域医療研修センター
□受講料 無料
□プログラム (主な内容)

最近の医療事情、病棟看護体験、看護技術と考え方、＜安全管理＞、＜救急看護＞、BLS (AED含む)、＜褥瘡予防＞、＜感染管理＞等

□案内書・申込用紙

ホームページ (参加申込書ダウンロード可) や院内各施設のパンフレットスタンドに開催案内書 (参加申込書付) を用意してあります

- 申込み先 参加申込書を 郵送、FAX (ご持参も可) などで、
〒963-8558 郡山市西ノ内2-5-20
太田西ノ内病院 看護管理室 宛
TEL 024-925-1188

- セミナー担当 太田西ノ内病院看護管理室、または
法人運営推進本部 人事部教育研修課
□第1回 職場復帰応援『看護セミナー』のようす



【材料】〈4人分〉

あさりむき身	80g	小麦粉	大さじ1
さつまい	大きい物半分	豆乳	400cc
A パーコン(1cm幅に切る)	1枚	味噌	大さじ1
しめじ(ほぐしておく)	1パック	にんにく(チューブでも)	少々
玉葱	半分	砂糖	小さじ1
バター	大さじ1	コンソメ	小さじ1
料理酒	大さじ2	塩こしょう	適量
水	100cc		

〈1人分〉 エネルギー 149kcal たんぱく質…10g



豆乳の
クラムチャウダー

彩
食
健
美

豆乳は栄養素をバランス良く含んだ食品です。美容ビタミンといわれているビタミンB1、B2、B6、ビタミンEがたっぷり、特にビタミンEは血行を良くする作用もあり、肩こりに効く他、ホルモンの分泌も盛んにして美肌作りにも効果があります。更に女性に不足しがちな鉄分は牛乳の約十倍以上。ビフィズス菌の働きを活性化するオリゴ糖もたくさん含んでいます。又、体脂肪を気にする方にも安心して飲んでもらえるノンコレステロール飲料です。豆乳は2%の脂肪を含んでいます。その脂肪分は植物性のためコレステロールは含みません。外食が多い方にはビタミン、ミネラルが手軽に取れる豆乳を生活の中に取り入れてはいいかごでしょうか。

これからますます寒くなる季節に体を温めてくれる豆乳のクラムチャウダーを是非お試しください。

《作り方》

①玉葱、さつまいは1cm角に切ってレンジで軟らかくします。

②Aの食材をバターで炒め、小麦粉をいた水、酒、豆乳、にんにく、味噌、砂糖、コンソメを入れて、蓋をして煮る。

③塩こしょうで味を調整して出来上がり。
(豆乳は沸騰すると分離するので火加減を注意して下さい。)

オープンシステム情報ネットワーク



せいの内科クリニック



太田西ノ内病院では、患者さんに質の高い医療を受けていただくために、開業医の先生方と連携をすすんでいます。ここでは、太田西ノ内病院オープンシステムの登録医療機関、登録医師のご紹介をさせていただきます。



ひろさか内科クリニック



佐々木医院

せいの内科クリニック



清野弘明先生とスタッフのみなさん

院長 清野 弘明
 昭和60年 金沢大学医学部卒業
 昭和63年 東北大学第二内科入局
 平成4年 太田西ノ内病院 糖尿病センター
 平成12年 同 糖尿病センター長、福島県立
 医科大学第三内科非常勤講師
 平成15年 東北大学糖尿病代謝科臨床助教授
 平成18年 せいの内科クリニック

患者さんに寄り添う治療を目指しみんなで努力しております。

管理栄養士(2人)、看護師(5人)、事務(2人)の小さな組織ですが、悪化してしまうということが多々みられます。外来診療を充実することは糖尿病診療にとっては非常に大切なこととなります。外来診療を充実するためには、1人1人の患者さんの診療時間をできるだけ長くし治療上の問題を拾い上げ、1つ1つ解決していくことが必要になります。

所在地/〒963-8851
 郡山市開成6丁目192-2
 電話/024-983-1024
 F A X/024-983-1010
 診療科/内科
 休診日/木曜の午後・日曜・祝祭日
 診療時間/月・火・水・金曜日
 午前 9:00~12:00
 午後 2:00~ 6:30
 木曜日
 午前 9:00~12:00
 土曜日
 午前 9:00~12:00
 午後 2:00~ 5:00

登録医がいり

クリニック、あるいは組織の理念としては、糖尿病患者さんの外来診療を充実することを掲げています。糖尿病は痛くも痒くもないのに将来に合併症が起こりうるという、患者さんにとってはバーチャルな疾患です。血糖コントロールのための入院というバーチャルな状態では、血糖コントロールが良好になるのは当然なのですが、外来という実生活では悪化してしまうということが多々みられます。外来診療を充実することは糖尿病診療にとっては非常に大切なこととなります。外来診療を充実するためには、1人1人の患者さんの診療時間をできるだけ長くし治療上の問題を拾い上げ、1つ1つ解決していくことが必要になります。

佐々木 医院



昭和三十八年 福島県立医科大学卒業、以後、同校麻酔科学教室入局、総合会津中央病院、福島病院勤務
現在地に佐々木医院開院

院長 佐々木 泰道



佐々木泰道先生とスタッフのみなさん

現在の地に開業してから、二十五年になりました。私が開業しました頃には富田町の現在地は、周辺を田畑に囲まれて、現在の住宅の密集した環境からは想像もつかない状況でした。富田町で、逢瀬川の北側に医院は佐々木医院のみでしたので、現状を考えると隔世の感があります。私は、大学におりました頃から、痛みに関心を持ち、診療に当たって来ましたし、現在も痛みが、診療の中心になっていきます。現在、佐々木医院の基本診療方針として、地域の方々のために少しでもお役に立つような診療をと心がけて来ました。出来るだけ、広く診療の幅を持ち、その中に私の関心を持ってきた痛みの問題を据えて、日常診療を心がけています。専門的な検査、診療が必要な場合、入院を要する場合には、太田西ノ内病院をはじめとする連携病院に大変お世話になり、診療することができております。

登録医から

所在地 / 〒963-8046
郡山市町東1-196
電話 / 024-952-3661
F A X / 024-952-8203
診療科 / 内科、神経内科、麻酔科、リハビリテーション科、外科
休診日 / 日曜日、祝日
診療時間 / 月・火・水・金曜日
午前 9:00~12:30
午後 2:00~ 6:00
木・土曜日
午前 9:00~12:30
往診・訪問診療 / 往診可

ひろさか内科クリニック



理事長 廣坂 朗
昭和58年 福島県立医科大学卒業、昭和59年 福島県立医科大学第一内科(刈米重夫教授)入局、昭和59年 いわき市立常盤病院内科医員、昭和62年 (財)心臓血管研究所研究員補、昭和62年 (財)心臓血管研究所研究員、平成2年 福島県立医科大学第一内科(丸山幸夫教授)助手、平成4年 福島県立医科大学第一内科(丸山幸夫教授)助手、平成12年 (財)太田総合病院附属太田西ノ内病院循環器科部長、平成13年 (財)太田総合病院附属太田西ノ内病院循環器科センター長、平成18年 ひろさか内科クリニック 院長、平成19年 医療法人ひろさか内科 理事長



廣坂 朗先生とスタッフのみなさん

平成18年10月に「ひろさか内科クリニック」を開業いたしました。
私は、平成12年3月より太田西ノ内病院循環器科に赴任致しましたが、大変患者様が多い病院で、年々増加する外来の患者様を診療し、かつ救急医療に携わる事を両立するには物理的・肉体的な限界も感じながら、あつという間に年が過ぎました。この度新たな道を選び、また既に1年が過ぎてしまいました。
当クリニックは、特に循環器疾患における地域医療のレベルアップに関わりたいと思っており、診療所としては贅沢な循環器系診療機器をそろえ、専門の認定検査技師も常勤しております。ロゴマークHは、ひろさかのHを表しているだけではなく、Honest (正直)な医療で、Heart (臓器の心臓)だけでなく病んだ心をややし、Healthy (患者様の健康維持に役立つだけでなく、スタッフも健康的)でHeartful (心のこもった優しさのある)なクリニックにするという設立理念も表しています。
患者様が来院されて、笑顔で帰路につかれるようなクリニックになるべく、スタッフ一同いろいろな勉強をしていますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

登録医から

所在地 / 〒963-8041
郡山市富田町中ノ目41
電話 / 024-962-0230
F A X / 024-962-0231
診療科 / 内科・循環器科・消化器科
休診日 / 水・土曜日午後・日曜・祝祭日
診療時間 / 月・火・木・金曜日
午前 9:00~12:30
午後 2:30~ 6:30
水・土曜日
午前 9:00~12:30

★21世紀の申し子たち★

太田西ノ内病院で生まれた赤ちゃんを毎回紹介していきます。

質問

- ①生まれた時の感想
- ②子どもに願うこと
- ③ご両親の決意を一言

データ

としかわ みく
樋川 美星ちゃん

●平成19年10月20日
12時13分生まれ

●体重3660g

●父：樋川 和也さん
母：樋川 薫さん



データ

さとう かいしゅう
佐藤 海秀くん

●平成19年10月19日
18時33分生まれ

●体重3255g

●父：佐藤 利夫さん
母：佐藤 千春さん




美星ちゃんとお母さん



海秀くんとお母さん

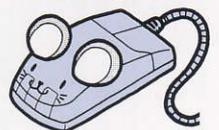
- ①やっと会えたね！嬉しい
- ②明るく元気な子
- ③家族が1人増え、幸せな気持ちでいっぱいです。
- ④4人で仲良く楽しい思い出をたくさん作ろうね。

- ①がんばって、うまれてきてくれてありがとう～
- ②元気で丈夫で素直にすくすく育ててほしいです。
- ③何事も努力して助け合えるような家族になろうね！！

投稿募集

太田西ノ内病院広報委員会では皆様からの原稿・写真等を募集しております。今後の広報誌に掲載してほしいものがありましたら、広報委員会までご連絡下さい。

編集後記



日足もすっかり短くなり、紅葉や初冠雪のたよりが聞かれるようになり、秋が深まっていく今日この頃、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

朝は冷え込むことが多くなり、風邪やインフルエンザなどの流行が危惧されますが、秋といえば、スポーツに、読書に、芸術に、そして食欲に趣味の季節です。

趣味と健康は切っても切れない仲だと思います。スポーツなどで体を動かすことで体は健康を維持し、また鍛えられます。好きな映画を見たり、好きな本を読んだりすればストレスが発散されます。私の祖父は相撲が好きで、相撲が始まると毎日欠かさず観ては、私に今日は誰が勝った負けたなどニコニコ顔で言ってきます。長生きの秘訣なのでしょう。趣味は健康の源です。また健康でなければ趣味を楽しむことができません。

趣味を辞書でひくと「仕事・職業としてでなく、個人が楽しみとしてしている事柄」とあります。そう、趣味は楽しくなければならぬものです。大小や種類にかかわらず、楽しく行うことが健康の秘訣だと思います。趣味に没頭して寝不足になったり、食欲の趣くままに食べ過ぎたり逆効果とならないよう気を付けてこれからの季節を乗り切りましょう。

(柳沼清一)

太田西ノ内病院広報委員会

委員長 須田 秀一
委員 佐藤 幸恵・佐藤 彦衛

大内 智子・松田美津子
柳沼 清一・増子イヅミ
鈴木 理恵・新里 昌一
中嶋 健起

佐藤 浩徳(幹事)